学校番号	1007

令和８年度　生活と表現科

教科	生活と表現	科目	防災入門	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近年、地震・津波・火山噴火・台風・大雨・洪水など様々な災害が発生しています。どこに住んでいたとしても、災害に遭う可能性があります。
災害を防ぐことはできません。しかし、災害を知り、被害を最小限にすることはできます。災害による被害を最小限にとどめるための方法について学んでいきます。そして、実際災害に遭ったときに、「より最善」な行動がとれるようになるための知識や判断力を学び、身につけていく授業です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
様々な災害のメカニズムや、災害時の避難の仕組み等について知識を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
災害に実際に遭ったときにすぐに行動できるよう、グループワーク等を通じて、思考力・判断力を養い、また適切に表現できるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
災害は身近なものであると感じ、常に主体的に情報を確認・取り入れることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	様々な災害について、そのメカニズム、被害状況等を学ぶことで、災害がいつ起きてもおかしくないことを理解できる。 ハザードマップ、キキクル、地震ハザードカルテなど防災に役立つ情報を自ら調べることができる技能を身につくことができる。	各災害の被害を知り、どのようにすれば被害を最小限にとどめることができるのか、また避難所運営の仕方やその方法について「どのようにすればよい運営となるのか」等を、グループワーク等を通じて、思考力や判断力を養う。また、発表等を通じて適切に表現できる。	災害について、常に身近に感じることができ、自分から災害や防災に関することを調べ・学ぼうとすることができる。常に新しい情報を取り入れ、災害において「より最善」となるような方法を探究できる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	各災害のメカニズム	○各災害について学ぶ ・日本における災害 ・各災害のメカニズム （地震・津波・火山噴火・台風・大雨・洪水など） ・各災害の被害状況	a:各災害のメカニズムやそれによる被害について、その知識を身につけ、理解している。 b:「どのような被害があるのか」、「どうすれば被害を減らすことができるのか」という観点でグループワーク等を通じて考えさせる。そしてその方法についてまとめ、発表することができる。 c:災害を身近であると感じ、自ら進んで調べ学習やグループワークに取り組む態度が身についている。	・考査 ・確認プリント	・考査 ・ワークシート ・グループワークの振り返りプリント等 ・発表用スライド	・グループワーク等の取り組み ・授業態度 ・プリント等の提出物
2学期	防災に役立つツールや避難所運営について	○防災に役立つツールを学ぶ ・ハザードマップ ・ローリングストック ・地震ハザードカルテ ・キキクル ・マイ・タイムライン ・防災グッズ作成 ・地区防災計画 などを学ぶ ○避難所運営について学ぶ 避難所でよりよい方法について考察する。	a:防災に役立つツールの方法や、避難所運営の実態、関係する法律等について学び、その知識を身につけ、理解している。 b:「どの地域にどの災害の危険性があるのか」等について、様々な情報ツールから読み取り、各地域で「どのように普段から準備していれば災害の被害を最小限におさえる」ことができるか考え、判断し発表することができる。 避難所運営については、これまでの災害時の課題を踏まえ、よりよい解決方法をみつけ、発表することができる。 c:防災に役立つツールを自ら主体的に利用している。避難所運営について、調べ学習やグループワークを通じて主体的に学ぶ態度が身についている。	・考査 ・確認プリント	・考査 ・ワークシート ・グループワークの振り返りプリント等 ・防災グッズやマイ・タイムライン等で作成したもの ・発表内容	・グループワーク等の取り組み ・授業態度 ・プリント等の提出物

3学期	1，2学期を振り返り、まとめる	○防災について他の人に伝える ・啓発ポスター ・防災計画 等を作成し、周りの人にその情報を発信する。	a:ポスター作成のための防災に関する知識を再確認する。これまで学んだことを活かした防災計画を作成し、その際の防災に関する知識を確認する。 b:ポスターや防災計画の作成について、「誰に対してもわかりやすい」ものになるよう考え、必要な情報を取り出し、まとめて表現できる。 c:これまでに学んだことを活かしてポスターや防災計画を主体的に作成することができている。	・確認プリント ・作成したポスターや防災計画	・作成したポスターや防災計画 ・発表内容	・授業態度 ・提出物 ・作成したポスターや防災計画
		○今後起きる可能性のある災害について考える。	a：今後発生するであろう、南海トラフ地震などの災害について過去の被害を知り、今後起きた際の対処方法等に関する知識を確認する。 b：今後災害に遭った際に、どのような対処すべきかこれまで学んだことを踏まえて考え、適切に表現している。 c：１年間学んだことをまとめ、災害や「防災」について意欲的に学び続けようとしている。	・考査 ・確認プリント	・考査 ・ワークシート	・授業態度 ・プリント等の提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度